

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1 歳児)

12 月は、クリスマスの絵本や手遊びを通して、クリスマスの楽しい雰囲気を感じながら 1 つずつ増えていくアドベントカレンダーの飾りを楽しみ、毎日わくわくした気持ちでアドベントの期間を過ごしていました。

12 月の月間絵本は、様々な乗り物が登場する子どもたちの大好きな絵本です。アドベントカレンダーの飾りに、乗り物が登場すると、絵本と飾りを交互に指差し「同じだ！」と身振り手振りで一生懸命伝えてくれる 0 歳児の姿がありました。

また寒い季節ですが衣服で温度を調節しながら、体をたくさん動かし、追いかっこや、園庭探索など戸外遊びも積極的に楽しみました。寒さに負けず子どもたちは、とても元気！外遊びが大好きです。

1 月は、もちつきをみんなで見に行きます。初めて本物のもちつきを見る子どもたちも多いたまご組ですが、周りの楽しそうな雰囲気に笑顔を見せたり、お餅をつく力強い音にドキドキしたり五感をフルに刺激し驚きと発見を存分に楽しみたいと思います。



ことい組(2 歳児)

クリスマス礼拝の日は、午睡から目覚めるとアドベントクランツのろうそくとリボンの色が、紫から赤に変わっていることに気づき、お家の人と迎えるクリスマスにわくわくしていた子どもたちでした。お家の人と一緒に讃美歌をうたいイエスさま誕生の絵本を見て、とても暖かい気持ちになりましたね。クリスマスでうたった歌や手遊びは、年末年始の休み明けも、口ずさむ姿があります。きっとお家でも楽しんでいたのでしょう。

1 月になってからも、戸外では日陰に霜柱を発見すると眺めたり触ったりして「こおりだよ」「つめたい」「とけちゃったよ」などの声が聞こえています。友だちや保育者とかけっこも楽しんでいます。寒さなんてへっちゃらの子どもたちです。室内では、コマ回しに挑戦したり福笑いや絵合わせ、新しいパズルなども楽しみ始めました。

クリスマスの経験を経て“大きくなりたい”気持ちが膨んでいます。これからも、一人ひとりの興味や関心を大切にしながら、見る、聞く(聴く)体験を積み重ねていきたいと思います。



すみれ組(3 歳児)

新しい年を迎え、気持ちも新たに第三保育期を迎えることができました。久しぶりに会った友だちや先生との再会を喜び、新年のあいさつをニコニコ顔でしていた子どもたちです。

クリスマス礼拝では、イエスさまがうまれたことをお家の方に伝える時を過ごし、素敵に讃美歌を歌い、大きくなったことを喜びましたね。みんなで一つのことをやり遂げた子どもたちは、“できる！”の自信がつき、歌うことがもっと大好きになりました。次はこんなことに挑戦したい！と子どもたちからも伝えてくれるようになりました。

いよいよポニー当番の修行が始まります。ひつじ組への進級に向けて、大きくなったからできることを喜びながら、憧れのほし組さんにベッカムとアースのお世話の仕方を教えてもらいます。大切に教えてもらってベッカムとアースともっと仲良くなりたいと思います。

お正月遊びや戸外遊びでたくさん体を動かし、たくさん食べて、寒さに負けない強いからだづくりをみんなと楽しく作っていききたいと思います。



ひつじ組(4 歳児)

ひつじ組はクリスマスで、スウェーデン、イギリス、メキシコ、アルプスの村の4か国のクリスマスを知り、「お家の人に世界のクリスマスを伝えたい！」という思いで絵本をたくさん読んで世界のクリスマスのことを調べました。それぞれの国のクリスマスのお祝いの方法を知る中で、讃美歌を大切に歌おうと気持ちが高まっていきました。そして、みんなで同じ気持ちになって素敵に伝えたい思いもどんどん膨らみ、「もっとこうしたいほうがいいよ」「口を大きく開けていて素敵だったよ」と声をかけ合う様子も見られるようになりました。

また、リースやモビール、クリスマスツリーなど、クリスマス飾りもたくさん作り、部屋がクリスマスでいっぱいになりました。アドベントカレンダーで「みんなのクリスマスまであと何日だね」と確認したり、クリブを飾っていったりしながら、みんなでクリスマスを迎えることを楽しみに過ごしました。クリスマスを経て、「みんなと同じ気持ちだから楽しい」、「みんなと一緒にだから楽しい」とますます感じてきたひつじ組。第3保育期も「みんなと一緒に楽しい」をたくさん感じて、ほし組に向かって「もっと大きくなりたい！」という気持ちを膨らませていってほしいと願っています。



ほし組(5 歳児)

12 月のはのこぎりで切った竹や毛糸、折り紙を使ってオリジナルのクリスマス飾りを作り、部屋を飾り付けながらクリスマスを待ち遠しく過ごしていたほし組のみんな。そんな中、クリスマス礼拝に向けて毎日みんなで声を掛け合いながら練習を重ねてきました。たくさんの讃美歌やセリフを覚え、人前に立って発表する緊張感を経験しながらも、ページェントを通して「お母さんやお父さんにクリスマスのお話を伝えたい！」という子ども達の強い思いが溢れ、とても素敵なクリスマスになりましたね。

そんなクリスマス礼拝を通して、自信を得ることができた子ども達は竹馬にも積極的に挑戦しています。練習している中で「私はもう横歩き！」「幼稚園一周もできたよ！」と竹馬でできることもどんどん増えてきました。「お母さんに見せたい！」「お父さんにも見てもらう！」と、子どもたちはやる気に溢れています。保護者の方にも見ていただける機会を作ろうと子どもたちと相談中です。今後も友達と励まし合いながら、一人ひとりの達成したい目標を目指して挑戦していきます。

これからも自信を持って色々なことに取り組みながら、友達と声を掛け合い楽しんで幼稚園生活を過ごせることを願っています。



預かい保育(3・4・5 歳児)

第3保育期が始まり年末年始を楽しく過ごした話をする子どもたちの姿があります。冬休み中の預かりでは夢中で色々な事に取り組む姿が沢山みられました。ほし組は竹馬にどんどん挑戦し、坂になっている所を歩いたり、横歩きをしたり、手が痛いと言いながらも頑張る姿がありました。室内では折り紙や製作にじっくり取り組んでいました。

ひつじ組も折り紙で折りたいものを見つけ、スタッフに教えてもらいながら楽しんでいました。外遊びでは鬼ごっこなどみんなで集団遊びを楽しむ姿がありました。

すみれ組は「花いちもんめ」に夢中です。自分のチームに相手チームのだれを入れるか話し合ったり、ジャンケンをしたりと「友達と一緒に遊ぶと楽しい！」が分かってきた様子です。

第3保育期から、ひつじ組のお昼寝がなくなります。これまで、お昼寝中に、ほし組が砂場や床下の片付けをしてきていました。今度はひつじ組もやる番です。まずは、ほし組に教えてもらいながら、ほし組が今までやってきてくれた事を知り、「いよいよ自分達もやるんだ！」という嬉しい気持ちで受け継いでいってくれるといいなと思っています。